

地域おこし協力隊として活動した谷島隊員、高橋隊員の任期が終了しました。2人のこれまでの活動内容を紹介します。

【問】 地方創生課（本庁4階） ☎ 22-0500

## 自転車で筑西の魅力を再発見

やじま **谷島** なおや **直哉** 隊員 

### Profile

桜川市出身。令和2年10月に地域おこし協力隊に着任。観光サイクリングツアー「チャリ散歩」などの開催やサイクルラックの設置・製作をとおして自転車活用推進に取り組む。



## 私

が4年間筑西市に住んだ感想や活動の成果を紹介しています。

### 筑西はいい、お節介焼きが多いまち

高校3年間も旧下館市で過ごしましたが、筑西市は、古い街道や和菓子屋、寺社仏閣、城跡など街に骨董品のような重厚さがある印象です。長い間都会暮らしも経験しましたが、新しいものより古いものが、私の私には、筑西での暮らしはじっくりくる……。そんな日々を過ごしました。

また私のような中年男性の一人暮らしを心配し、良い意味でのお節介を焼いてくれる優しい人が多かったです。とても感謝していますし、大きく影響を受けた私もお節介焼きになろうと決めました。

### 県内随一のサイクリングガイドを目指して

私の活動内容は、一言で言うとお自転車活用推進。具体的には、筑西市の風景の素晴らしさを再発見する観光サイクリングツアーをほぼ毎月開催しました。ツアーの開催数は34本。特別企画も合わせると、かなりの本数になります。毎回中身が異なる企画考案から参加者募集、運営など全てを一人で行い、これだけの本数を催行するサイクリングガイドは少なくとも県内には私くら



▲季節に合わせたサイクリングツアーを開催中。参加申し込みはこちら



### 筑西を車文化から自転車文化のまちへ

らいだろうと自負しています。また、子ども向け自転車教室の開催や自転車で立ち寄れるスポットの紹介など、とにかく自転車の楽しさを伝えられるように活動しました。

今後サイクリングガイドやサイクルツーリズムに関する企画運営などを続けていきます。筑西市は日本でも指折りの車文化のまち。自転車活用推進の普及はまだだと感じています。それでも自転車文化が根付くよう、何年でも何十年でも働きかけていきたいと思っています。引き続き市内に住んでいきますので、どうぞ仲良くしてください。

▶ サイクルラックを市内20箇所に設置しました。



◀ 自転車初体験のお子さんでも楽しめるプログラムを考えています。



4年間の任期終了

# 活動を振り返って

## 廃棄梨で加工品の製造・販売

たかはし しゅんすけ  
**高橋 俊介** 隊員



### Profile

新潟県出身。令和3年1月に地域おこし協力隊に着任。市の名産品である梨に着目し、100%梨でできたジャム「梨の蜜」や「梨のチャツネを使った牛すじカレー」を販売。



▲ 梨の蜜は幸水、豊水・恵水、新高の3種類から味が選べます。

### 廃棄される梨を使って ジャムやカレーを開発

主な活動内容は、筑西市の

**筑** 西市で協力隊として活動を始めた理由は、筑西市が梨の名産地だったからです。前職で梨農家を取材した際に大量の廃棄梨の存在を知りました。それらを使って何か事業ができないかと思い、筑西市の協力隊に応募しました。

### 一日15時間ひたすら 梨と向き合う日々

活動して感じたのは、製造業は体力的に大変だということ。初年度は収穫期の8月〜10月の3か月間、休みなしの15時間労働。1日に20〜30kgの梨の皮をひたすらむき続けました。2年目からはぐっと効率化しましたが、それでも作業時間は11時間。しかし、どんなに大変でも、作り手として出来上がりの味や品質に差があつてはいけません。ひたすら安定した味になるよう、試行錯誤を続けた日々でした。また梨を使ったカレーを、

地域産品である梨を使った商品開発です。

廃棄梨を6時間煮込んで作ったジャム「梨の蜜」や、梨の蜜を調味料として使ったレトルトカレー「梨のチャツネを使った牛すじカレー」を開発し発売しました。

### おいしいの声に応える ために今後も奮起

地域おこし協力隊としての活動終了後も、現在の事業を続けていきます。開発した商品は道の駅グランテラス筑西やカフェブリーズ、ユメノバ売店で販売しているほか、イベント時の出店も予定しています。心をこめて作った自慢の逸品ですので、見かけたらぜひ食べてみてください。さい。



高橋隊員の最新情報はこちら

